



令和2年8月25日発行 中等新報第69号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

13期生進路講話③ ～ 自分なりの闘い方を貫くこと ～

中島彩映子さんの場合

- ・6年生の初めから受験期の追い込みと考え、必死に取り組みました。例えば、トイレで英単語帳を見たり、電車を待つ時間に数学の公式を覚えたり、昼休みや帰りの電車で英単語を覚えたり、お風呂に浸かりながら世界史を暗記したりと、自分は要領が悪いので、寸暇を惜しんで詰め込みました。
- ・受験準備は孤独なものというイメージがあるかもしれませんが、私は友だちと協力しながら勉強したので、ちっともきつくありませんでした。放課後、毎日のように、教務室前の質問コーナーで友だちと勉強したのですが、すごく楽しくて、心の支えになりました。
- ・推薦入試には賭けないでください。自分は推薦で行くんだと決めてしまうと、落ちたときのショックから立ち直れません。結果が出るのが12月。ここで切り替えを図るのは厳しいと思います。
- ・推薦は一般入試のリハーサル。メインはあくまでも一般入試という心構えが必要です。私も、推薦入試の結果が出るまで、一般入試の対策に集中していました。



中島彩映子さん（筑波大学社会国際学群国際総合学類進学）



櫻井友哉さん（東京大学文科二類進学）

櫻井友哉さんの場合

- ・11月までは、個別学力試験対策に集中しました。記述対策にじっくり取り組めるのは、この時期まで。志望校の個別学力試験の配点に応じた学習計画を立てることが大切です。
- ・模試で間違った問題は記録しておくといよいでしょう。志望校判定は参考程度。科目ごとの目標得点を定めることがより重要です。
- ・勉強はとにかく毎日一定量をこなしましょう。特に、基本となる英単語や古文単語、古典文法・漢文の句法などは隙間時間をうまく使うといよい。
- ・1次特編（12月）、マーク式の対策は、やればやるほど得点が伸びます。
- ・東大の個別学力試験では、英語問題が半分マーク式。問題量が多くて、時間が足りない。5、6問はテキストに解答しましたが、必ず全問マークするよう心がけました。記述問題も、解答欄には何かしら書く。徹底して点数にこだわるのがポイントです。

・入試がゴールではありません。今やっていることが大学入学後必ず役立ちます。



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773

HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>